


活動名	目玉っちキーホルダー				
概要	○木の枝にクラフト用の動く目玉をつけて、キーホルダーをつくる。				
ねらい	○自由な発想で思い思いに作品づくりを行うことによって想像力を養う。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○木肌をよく観察することで樹木に対する興味関心を抱くきっかけをつくる。				
関連教科等	生活・図画工作・理科・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼(大)～
場所	創作棟	人数	～120人/1部屋	所要時間	0.5～1時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの	
	小枝、クラフト用の動く目玉、ヒートンひも、ピンセット、木工用ボンド、押しピンマジック、ひご			なし	
<b>進め方・展開例</b>					
	内容			留意点	
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。	
活動の説明	○例となる作品を提示し、自分の自由な発想でキーホルダーをつくること ○木肌を観察して、顔の表情のように見える部分をさがすこと ○作成手順について			○例となる作品と同じものを作るのではなく、自分の自由な発想で作るように伝える。 ○どんな表情に見えるかを友達同士で確認させるとよい。 ○創作説明用のシートを使用する。	
展開	○小枝の木肌を観察して、どの部分を使うか決める。 ○のこぎりで小枝の使う部分を切る。  ○木工用ボンドで、小枝にクラフト用の動く目玉を付ける。  ○枝にヒートンを付ける。  ○ヒートンにひもを付ける。			○のこぎりの正しい使い方を説明する。 ⇒「刃物の扱い方シート」を活用する。 ○細かい作業なので、ピンセットを使うとよい。  ○ヒートンにひごを通して、回していくとよい。	
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品を発表し合い、よさを認め合う。				
評価	○木肌の表情を観察して、積極的に小枝を選ぶことができたか。 ○想像力をはたらかせて、思い思いの作品をつくることができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。				
発展	○色合いを考えて、マジック等を使って色を付けることもできる。				